

エネルギー転換の人為的課題

長野県上田染谷丘高校1年 4組 氏名伊東 慧

この課題に関わるSDGsの番号



- 全ての人が手頃な価格で
近代的なエネルギーを使える
- 環境に良いクリーンな
再生可能エネルギーを増やす

現状

日本は今も7割以上も火力発電に頼っている。無くなるのは当分先だろうが二酸化炭素は出している。

太陽光が今増えているが蓄電池が必要なことを考えると価格は高くなってしまっているので限界がある。

原子力は福島原発の事故で増やすのは絶望的

水力はもう開発できるところはしつくしたので増やしようがない

...ということもあり火力は減らない



テーマ設定の理由

最近電力不足が問題になり、停止していた火力発電所が再稼働したというニュースがあり、改めて日本が火力発電に頼らざるを得ないのかを実感し、どうにかできないものかと思ったから。



課題

環境にいいクリーンな再生可能エネルギーを増やすこと。

(現実的なのは太陽光パネル)



解決策

ソーラーパネルの屋根設置が進まないのは「人の家に勝手にソーラーパネルを置けないから」。でも一般市民からすると1番の問題は費用。だったら電力会社が費用の殆どを負担して民家の屋根に設置。火力発電所やメガソーラーの建設を減らすことができるはず。蓄電も有り余る揚水発電所を再稼働すれば大規模に開発をしなくてもいい。



10代からの提言

再生可能エネルギーだから環境にいいわけではない。ソーラーパネルを設置するために木を切るというのは違う。民家の屋根に簡単に設置できないのはわかるが地球環境を守るためにやることの足かせが利権や利潤なのはあまりに愚かだと思う。

感想

もともと資本主義国家なのでなかなか国民で協力は難しいのだろうけどsdgs活動では更にそれが顕著に出ている気がした。富裕層(電力会社の社長など)は自分の利益を守るために 中位層以下の方は支出を抑えるために でなかなか進んでいかないように私には見えた。再生可能エネルギーが増えて更にそれが加速しないことを私は祈る。